

大腸菌由来の糖リン酸加水分解酵素、組換え型

Cat. No. NATE-1228

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酵素学において、糖リン酸加水分解酵素（EC 3.1.3.23）は、次の化学反応を触媒する酵素です：糖リン酸 + H₂O ⇌ 糖 + リン酸。したがって、この酵素の二つの基質は糖リン酸とH₂Oであり、二つの生成物は糖とリン酸です。この酵素は加水分解酵素のファミリーに属し、特にリン酸モノエステル結合に作用するものです。この酵素クラスの系統名は糖リン酸ホスホヒドロラーゼです。

別名 シュガーリン酸ホスホヒドロラーゼ

製品情報

由来 エシエリキア・コリ株 K-12 サブストレイン MG1655

形態 3.2 M 硫酸アンモニウムで供給されます

EC番号 EC 3.1.3.23

CAS登録番号 9023-07-8

分子量 34233.0 Da

純度 > SDS-PAGEによる評価で95%

活性 7.786 U/mg

濃度 45.60 U/ml

最適pH 5.5

最適温度 > 40°C

単位定義 1ユニットは、pNP-リン酸塩（15.6 mM）から78.1 mMの酢酸ナトリウムバッファー（pH 5.5）中で、0.064 mg/mLのBSAと6.25 mMのMgCl₂を含み、40°Cで、消光係数18000 M⁻¹cm⁻¹を使用して、1分間に1μmolのpNPを放出するのに必要な酵素の量として定義されます。

使用法とパッケージング

調製方法 使用前に酵素沈殿を完全に均一化するために、バイアルを十分に振とうしてください。

保管・発送情報

保存方法 4°Cで保管してください（常温で発送されます）